

松本平ゼロカーボン・コンソーシアム 設立趣意書

気候変動が全世界的な政策課題となっています。

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は2018年、いわゆる「1.5℃特別報告書」を発表し、人為起源による地球の平均気温上昇を1.5℃以内に制御するためには、世界全体で二酸化炭素の実質排出量を2050年前後にゼロとする必要があるとの提言をまとめました。この「2050ゼロカーボン」を達成するため、国際社会から地域社会までが一丸となって、脱炭素社会づくりに取り組みはじめています。

松本平は恵まれた自然環境を有する地域であり、山岳・高原から森林・田園、市街地に至るまでの私たちの暮らしは、この自然環境の恩恵なしには成立しません。これらの恩恵を永続的に受け続けるために、松本平においても2050ゼロカーボンに向けた取り組みを進めていく必要があります。さらに、私たちはこの脱炭素社会への転換を通じて、世界的課題への取り組みを先導しつつ、市民の生活をより豊かで快適に、地域の産業をより活力ある姿に変貌させていきたいと願います。

こうした課題に向きあい、未来を切り拓いていくために、私たちは松本平ゼロカーボン・コンソーシアムを結成し、広く松本地域の産学官の力を結集させ、地域性と事業性が両立したエネルギー自立地域の形成が促進される事業の展開を支援します。

2022年2月21日

発起人